

東都医療大学図書館通信

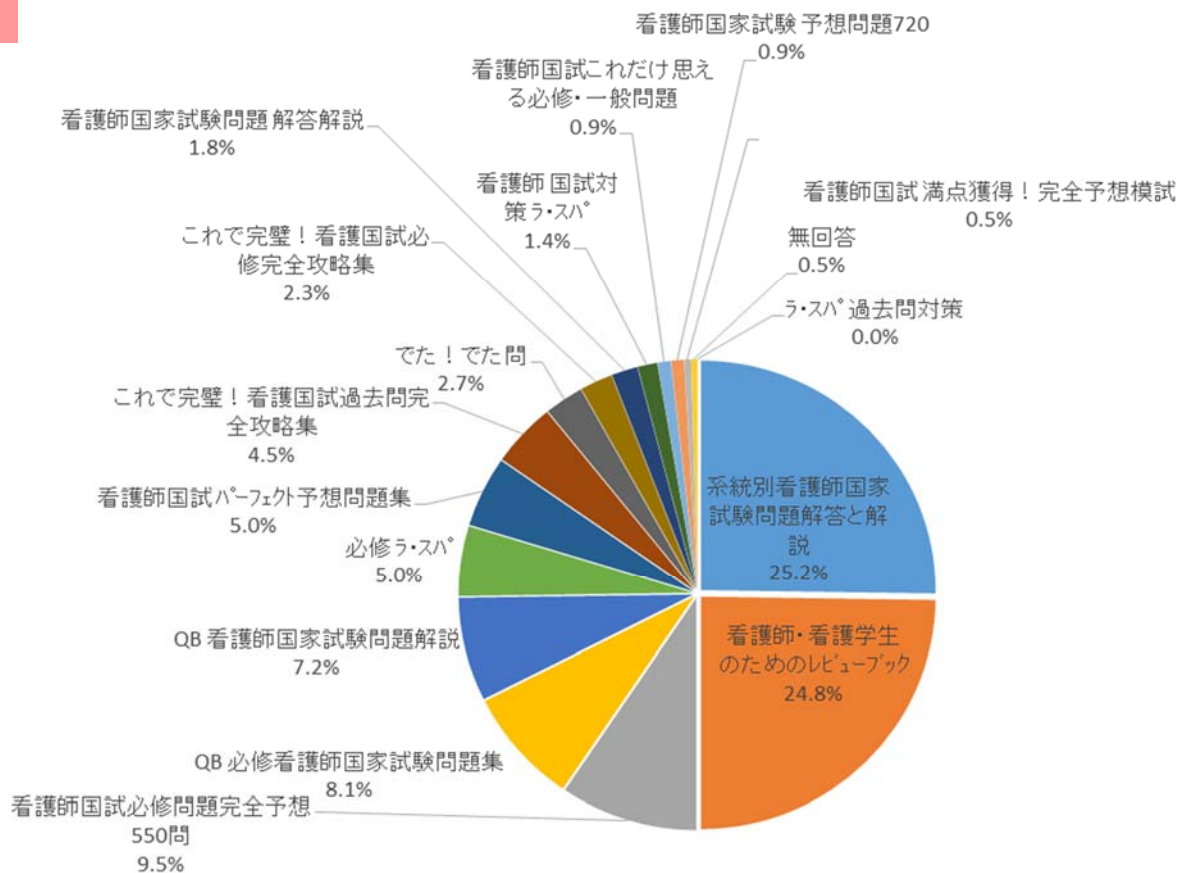
🍷 国家試験お疲れさまでした!

皆さん、国家試験お疲れさまでした。今年はこれまでの傾向とは異なり、読解力を問う問題が多かったようで、全国で受験した多くの皆さんは難しく感じたようでした。毎日コツコツ勉強していた皆さんの努力が実を結ぶことを心より願っております。さて、ご協力いただいたアンケート結果を発表致します。これから受験する後輩の皆さんも、先輩たちからのアドバイスをぜひ参考にしてください!

Q1. 購入した問題集・参考書を教えてください。

* 複数回答あり

①看護師



1位



『系統別看護師国家試験問題集』
(医学書院)

2位



『看護師・看護学生のためのレビューブック』
(MEDIC MEDIA)

3位

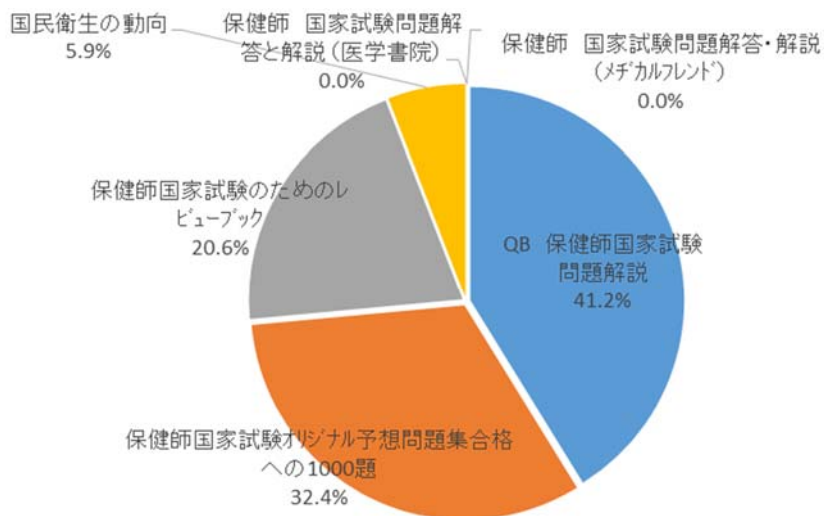


『看護国試 必修問題完全予想 550問』
(照林社)

医学書院、不動の第1位! です。今年レビューブック、プチナース必修問題完全予想 550問が上位に入りました。



②保健師



『QB 保健師国家試験問題解説』
(MEDIC MEDIA)

2位



保健師国家試験オリジナル予想問題集
「合格への1000題」シリーズ
(インターメディカル)
* 2016年版をもって発行を終了

3位

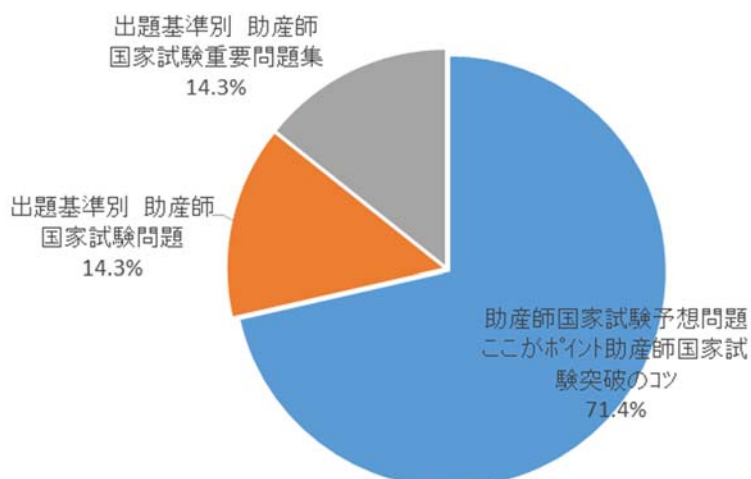


『保健師国家試験のための
レビューブック』
(MEDIC MEDIA)



昨年に引き続き、QBが堂々の第1位です！レビューブック、「合格への1000題」シリーズが昨年同様上位を占めました。なお、「合格への1000題」シリーズについては、残念ながら2016年版をもって発行を終了しています。

③助産師



『助産師国家試験予想問題』
(助産師資格試験研究会)

2位



『出題基準別
助産師国家試験問題』
(メディカ出版)

2位

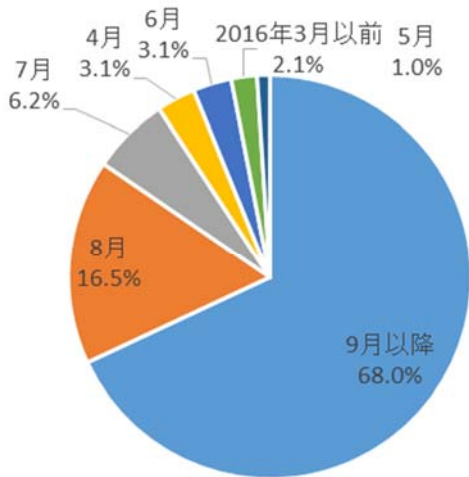


『出題基準別
助産師国家試験重要問題集』
(メディカ出版)

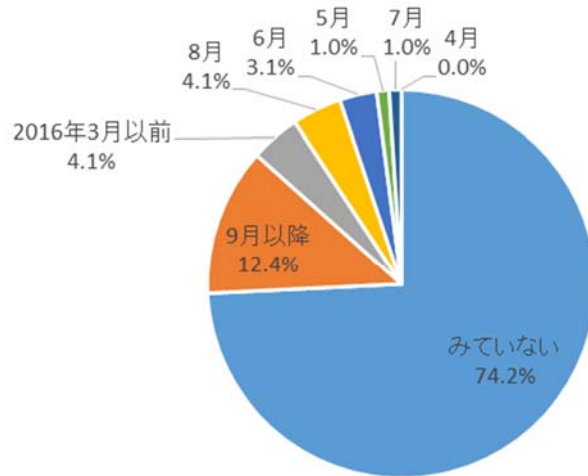


助産師問題集は発行している出版社が限られておりますが、今年是我が校の岩崎和代教授も編集に携わっている『助産師国家試験予想問題』が堂々の第1位となりました。メディカ出版刊行の問題集は同率第2位です。

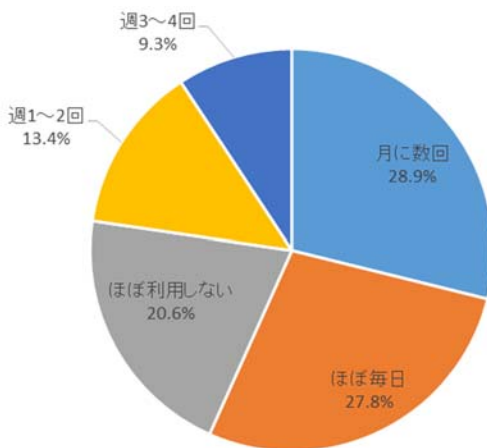
Q2. 国家試験勉強を始めた時期



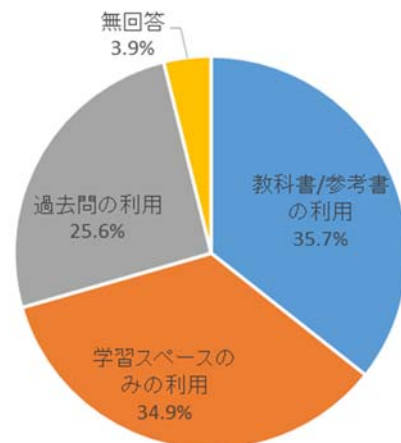
Q3. 基礎からのナビゲーションシリーズDVD (蜂谷先生) をみた時期



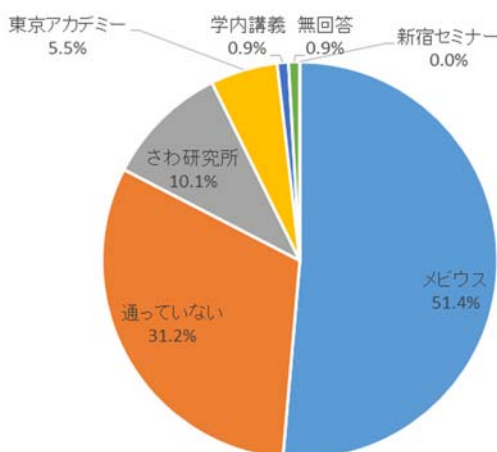
Q4. 図書館の利用頻度



Q5. 図書館の利用の仕方



Q6. 予備校へ通った方



「Q2. 国家試験勉強を始めた時期」→ 実習が終わってから始めた人が多いでしょうか。「Q3. 基礎からのナビゲーションシリーズDVD (蜂谷先生) をみた時期」→ 今年「みていない」人が7割。昨年までは殆どの学生さんがみていたのですが…。蜂谷先生の講義は分かりやすいと評判なので、低学年のうちから「基礎からのナビゲーションシリーズ」のDVDをみておくと、普段の授業もスイスイ頭に入ってくるかもしれません。「Q4. 図書館の利用頻度」→ ほぼ毎日図書館に通ってくれた人が3割！みんなコツコツ頑張っていましたね。「Q5. 図書館の利用の仕方」→ 勉強しながらわからないことをすぐ調べられる！椅子がかわって座り心地がいいという声も！「Q6. 予備校へ通った方」→ 半数以上の方がメビウスに通っていたようです。中には3つの予備校を掛けもちしている人もいました！

今年これまでの傾向とは異なり、読解力を問う問題が多かったようで、全国で受験した多くの皆さんは難しく感じたようでした。先輩のアドバイスにも「教科書を開いた人が勝ち！」とあったように、日々の勉強がとても大切なようです。これから受験する1~3年生の皆さん。ぜひ先輩たちのアドバイスを参考に、これからの学生生活を充実したものにしてください。

Q7.後輩たちへ伝えたいこと

先輩たちからの
アドバイス!



- ・過去問に出てくる疾患のみではなく、幅広い疾患の知識が必要なので、色々なものに目を通すことが必要だと思った。
- ・過去問や予備校に通っただけではダメかもしれない。単純な解答は求めていないように思えた。数値も完璧に覚えてないとつらい。
- ・実習が終わったらすぐに国試の勉強をした方がよい。 ・ 検査値は覚えよう!!
- ・過去問だけでなく予想問題等も行ったほうがよい。 ・ 本番で後悔しないようにしてください。
- ・国試の勉強で図書館を活用することはよいと思います。
- ・過去問や予想問題だけ繰り返してやってもダメです。教科書を片っ端から読んで覚えたり、レビューブックの小さな文字(*マークのとことか)、全然目立たない絶対出ないだろうと思うところをやるべきです。106回を受けてそう思いました。
- ・国試の勉強は辛く大変ですが、みんなと励まし合い、自分の勉強方法を見つけ、取り組むと良いと思います。頑張ってください。
- ・覚えたことを忘れないために反復することが大切。過去問の解説は要チェックしておく、意外と覚えてる。
- ・最初に計画を立て、最終的な国試本番にどのような状態になっていけば良いのかを明確にしないと月日はどんどん過ぎてしまう。やろうやろうと思っていたことが出来なかったりと、計画を立ててもずれてくる。早く準備をして損はない。自分で勉強をするのが大変で苦手だった私は、ここまで毎日やる!というように誰かに決めてもらったりすればよかったなと思っている。過去問を解くだけでは出来ない問題も増えた。日々の学習、先生の話をよく聞くなども大切だと実感した。
- ・過去問を解くのも大切だけど、自分の中で納得しながら解ける方が問題がかわっても応用できると思います!! あと、今までやってきた模試は必ず振り返り解くことをオススメします。模試は、今までの過去問の応用のようなものなので、国試合格への近道になると思います。皆さん頑張ってください!!
- ・コツコツ頑張ってください。
- ・国試対策期間の勉強も大切ですが、1年生からやってきたこと、4年間少しずつ勉強していることが大切だと思います。国試前日はゆっくり休めるように、ギリギリになってから始めると不安ばかりが大きくなっていくので、毎日少しでもやっていくといいかと思っています。
- ・勉強のやり方は人それぞれあるとは思いますが、看護師の国試勉強はまず問題を数こなして、出題パターン・頻度を知ることが大切だと思うので、低学年のうちから勉強することをオススメします。
- ・参考書はたくさん所有しなくても、図書館にたくさんあるので、自分でもつものはいくつか決めて、いろんな参考書を図書館でみて勉強できるといいと思います。
- ・図書館は静かで集中して勉強したい人が多くいます。小さな声でも響いて周りの迷惑となることがあるので、少し気をつけてください。今はわからなくても、自分が3・4年生へとなり、図書館を利用するとわかると思います。
- ・国試当日は何が起こっても動じない強い心をもっていくのを忘れずに…
- ・国試に近くなったらとにかく過去問(過去13年分までとか)を解いたり、必修で理解できないところをやる。
- ・勉強頑張ってください。
- ・授業をちゃんと聞いておいたほうがいいです。答えを暗記するのではなく、根拠となるところまで覚えておけば、難しく見える問題にも対応できると思います。
- ・今まで出題されていたマイナーな疾患があまり出題されなくなっているので、過去問を基盤にして、問題を掘り下げて勉強するといいと思います! 予想問題はやらなくてもいいと言われていたけど、怖くて予想問題を自分で買って解いていてよかったと思いました。とにかくたくさん問題を解いていた方が良い気がしました。厚生労働省のツイッターで今回(106回)で出題された問題について載せていたので、チェックしてみてもいいかと思っています。

- ・午前の問題が終わった時点で絶対に答え合わせをする人がいるが、聞かない方がいい!
- ・実習忙しいけど勉強して!
- ・過去問だけでは対応しきれない状況となってきました。幅広い分野に目を向け、学習してほしいと思います。
- ・過去問とか予想問題以外も勉強したほうがいい。図書館にある参考書は低学年のうちから活用したほうがいい。
- ・当日は知らない問題がたくさん出ます。過去問以外にも、教科書を活用すると有効かもしれません。
- ・過去問だけでは絶対対応できない。教科書をひらいた者が勝ちだと思った。また、法律・マイナーな疾患もちゃんと深く勉強した方がよいと感じた。
- ・より多くの教材を利用したほうが良い。
- ・早めに準備を始めることや何度も繰り返し問題を解くこと、数をこなすことが自信にもつながると思います。
- ・4年の実習が終わったらだらだらせずに、早めに過去問に取り組むべき。
- ・過去問をやっただけでは国試の問題は解けないと感じたし、検査値などもしっかり覚える必要があると思います。
- ・早めに勉強を始めましょう。過去問以外も使って(予備校の資料など)勉強するといいいと思います。
- ・静かにする。ヒソヒソ声でも気になってしまうので。
- ・対策は早めに行ったほうがよいと思います。時間のあるときに苦手なところを行ったり、解剖生理は特に力を入れて勉強することをオススメします。
- ・皆が勉強し始めたらずるのではなくて、自分は人よりできないと思うなら早めに取り組んだほうが良い。
- ・図書館で勉強すると、皆がいるから集中しなきゃって思えて勉強がはかどる。
- ・メビウスとさわは本当にいい!! 分かるが増える!!
- ・一人で勉強できなかつたら、よく勉強してる人のそばにいるといいよ。
- ・図書館の参考書を効率的に使うと良い。
- ・夏はしっかり遊んで良いと思います。時期が早すぎて、私はあんまり頭に入りませんでした。図書館や食堂を勉強等で占拠してしまい、実習の記録などやりにくかったと思います。すみませんでした。来年頑張ってください。
- ・必修をしっかり!
- ・過去問はやっておくべきだけど、問題形式が変わるとあまり意味がない。択2問題が多くなったから、択2問題ができるようになっておいた方がいいと思う。状況問題も増えたから、状況に対応できるようにしておく必要があると思う。
- ・噂に惑わされずに、自分の弱点を把握して勉強する。問題が広範囲なのでギリギリに準備を始めると焦って頭に残らないので、早めに少しずつコツコツやっていくことをおすすめします。
- ・厚労省のHPをみると、国試に出ていた問題に関することがツイートされていたりしたので、見ておくといいかも! 出題の仕方が変わって大変だけど、頑張ってください。
- ・たくさんの図書があり参考書探しに便利。
- ・少しずつコツコツやるべし。国試がせまってくると焦って、不安が大きくなるので、余裕を持って始めるのが大事! 来年からは出題傾向も変わるらしいので、問題の暗記では通用しないかもしれない。アセスメント能力を実習で培って!
- ・コツコツ計画を立てて行うのがよいと思います。
- ・勉強頑張ってください。
- ・国試勉強は長くて大変だと思いますが、仲間と一緒にやると心の支えになり、頑張ることができます。実習での経験が国試に役立つので、実習のことを思い出し、頑張ってください。応援しています。
- ・試験が本当に難しく、本番中本当に死にそうになる。自分の勉強量が足りなかったせい。過去問をやるだけじゃなくて、すべての分野を深くやらないとダメなんだなと思った。本気になって勉強し始めたのは1月下旬からだったけど、遅すぎたなと思った。10月から学校もあって大変だけど、まじで勉強した方がいい。
- ・最後の模試よりとても難しくなってるので、模試でよい点をとっても気を抜かないこと。
- ・過去問・必修を繰り返し解くことに加えて、予想問題も解いておいた方が安心かもしれないです。図書館や学校へきて、みんなで勉強(同じ空間で勉強)することで自分を追い詰めなくてすむのでオススメです。
- ・国試の過去問を何周するかではなく、1回にどれだけ集中して身に付けたのかが重要だと感じました。



『死者は穏やかに微笑んで』
金丸 仁/著、万来舎/刊

「不死身時代の医療者の役目」を考えさせる小説

東都医療大学学長 中條 俊夫

大学を卒業し、外科医になって以来、多忙のため読書の機会が失われ、本離れが進み、本を開くと間もなく居眠りをするようになりました。本購入もしませんでしたが、65歳を過ぎてからは、同僚や後輩からの贈呈本が多くなりました。その一つを紹介します。

著者の金丸仁先生は大学の後輩の外科医で、公立病院を定年退職後、時間ができたのか、文才を発揮され、名著『死者は穏やかに微笑んで』を贈ってくれました。不死・不老の科学、介護問題、老人施設問題、夫婦愛、政治などを絡めた小説です。多くは自体験を基に書かれたと思います。

小説の主人公は、公的病院退職後、老健施設に就任し、老年期に足を踏み入れている男性外科医です。認知症老人の対応に苦慮し、低賃金に悩む多くの介護者と共に働いた経験から、自分自身の生き方について、健康な加齢は望むが、認知症になる前に「ころり」と他界する人生が素晴らしいと望むようになります。同級生会で会った友人（内科医）が「不老即死」の研究をしていることを知り、秘密厳守の約束のもとに、70歳代後半に（年齢は記載されておらず推測）人体実験被験者となります。これは、進行した膵臓癌にかかった愛妻を看取るまでは、自分は生きなければとの思いもあったのです。研究は成功し、妻の看取りはできました。友人の研究者自身は不死を望まず、自ら不老即死の被験者となり、80歳前後（推測）で、他界します。主人公は150歳を過ぎても生き続けていますが、生命維持をテーマとした研究は、厚生労働省から犯罪に繋がるとして禁止、中止されています。従って超高齢者は彼一人となっています。

主人公は、100歳を過ぎ、妻をはじめ親しい人々全てに先立たれ、生きる目標を失います。何日間も続けて眠ったり、起きていたり、生活が乱れます。一心発起して日誌を書き出したものの、そのうち日誌でなく週誌、さらに月誌、年誌となり、人生と言えるような日々は送れません。

幸い、160歳頃に、即死を自覚し、行きつけの公園内で急死します。無呼吸下でも心電図がなかなかフラットにならない主人公の臨終に立ち会った医師が、不思議に思い、ポケットにあった手帳（日誌）を読み、初めてこの行き倒れ老人の生涯を知るところで、小説は終わっています。

夜10時頃から読み始め、読み終わったら夜明けでした。

科学が進み、この空想はいずれ現実のものになるかもしれません。もしも生命の長さを自分で決める時代になったら、生命倫理は大きく変革するでしょうし、医療者の役目はどうなるのかなど、余計なことまで考え込んでしまいました。

2月下旬～3月までに配架された図書・DVD・雑誌など

◀図書▶ 『社会福祉六法 ミネルヴァ 2017』

* 後期希望調査の図書につきましては、ご利用いただけるまでもう少しお待ち下さい。

◀雑誌▶ <http://www.lib-finder2.net/tohto/servlet/New?findtype=1> (OPAC参照)

展示販売のお知らせ

書籍展示は、2017年4月に再開予定です。購入希望者は、直接廣川書店へ注文して下さい。

■ 廣川書店 連絡先 ■

TEL : 027-322-4804 Mail : takasaki@hirokawa-books.co.jp

注文の際は、必ず、大学名、学生番号、氏名を伝えて下さい。

癒しの小動物たち



先月号のカピバラさんに続き、癒しの小動物を紹介します。(写真左) ヤフイヌ、(写真右) コアラです。ふんわりした姿に心も安らぎます。